

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-136332

(P2002-136332A)

(43) 公開日 平成14年5月14日 (2002.5.14)

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	キーワード (参考)
A 4 5 D	24/22	A 4 5 D	24/22
A 4 6 B	11/02	A 4 6 B	11/02
B 0 5 C	17/00	B 0 5 C	17/00
B 6 5 D	51/32	B 6 5 D	51/32
			Z 3 B 2 0 2
			3 E 0 8 4
			4 P 0 4 2
			A

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2000-332982(P2000-332982)

(22) 出願日 平成12年10月31日 (2000. 10. 31)

(71) 出願人 000180223

吉田工業株式会社

東京都墨田区立花5丁目29番10号

(72) 発明者 袖原 幸知

東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社内

(74) 代理人 100071283

弁理士 一色 健輔 (外3名)

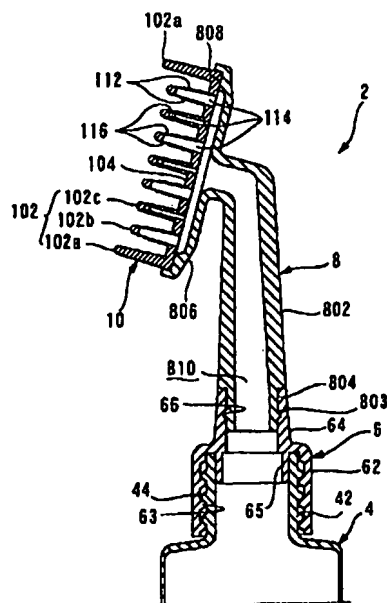
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 塗布用ブラシ付き注出容器

(57) 【要約】

【課題】 ブラシ体で毛髪に液剤（染髪剤、整髪料、育毛剤等）を塗布するにあたって、ブラシ体上に広くムラなく平均させて液剤を滞留させることができ、もって液剤を毛髪の広い範囲に亘ってムラなく塗布することが可能で、その塗布作業が楽に行える塗布用ブラシ付き注出容器を提供する。

【解決手段】 容器本体4に取り付けられて液剤の案内通路810を形成する柄部8と、縦横に林立された多数のブラシ歯102を有して柄部8に取り付けられるブラシ体10とを備え、ブラシ歯102には、柄部8の案内通路810に連通して歯丈方向に延びる液剤の注出通路114と、注出通路114の先端に連通してブラシ歯102を径方向に貫通する注出口116とが形成され、注出口116は隣接するブラシ歯102bと102c同士間でその開口方向が異なっている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 容器本体内に収容した液剤をブラシ歯表面に開口した注出口から注出する塗布用ブラシ付き注出容器であって、容器本体に取り付けられて液剤の案内通路を形成する柄部と、縦横に林立された多数のブラシ歯を有して該柄部に取り付けられるブラシ体とを備え、該ブラシ歯には該柄部の案内通路に連通して歯丈方向に延びる液剤の注出通路と、該注出通路の先端に連通してブラシ歯を径方向に貫通する注出口とが形成され、該注出口は隣接するブラシ歯同士間でその開口方向が異なっていることを特徴とする塗布用ブラシ付き注出容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、容器本体内に収容した液剤（染髪剤、整髪料、育毛剤等）を多数のブラシ歯表面に開口した注出口から注出して毛髪に塗布し得るようにした液剤の塗布用ブラシ付き注出容器の改良に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来より、容器内に収容した染髪剤を当該容器に取り付けたブラシ体のブラシ歯間に導いて、このブラシ体で毛髪を梳くことによって表面に塗布し得るようにした染髪剤の塗布用ブラシ付き注出容器が知られている。

【0003】 この種の注出容器は、容器本体とこの容器本体に柄部を介して取り付けるブラシ体とからなり、柄部はその内部に容器本体内の染髪剤をブラシ体に導くための案内通路が設けられて中空の管体状に形成され、一端が容器本体の口部に取り付けられるようになっている。また、ブラシ体は柄部他端の先端側に拡張形成された取付ベースに一体化されて設けられており、多数の軸状のブラシ歯が縦横に林立されている。そして、ブラシ歯にはこれを径方向に貫通して形成された注出口、及びこの注出口と上記柄部の案内通路とを連通する注出通路が形成されていて、容器本体内の染髪剤は案内通路と注出通路とを通じてブラシ歯の注出口から両側方に流れ出すようになっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、前記の様な従来の染髪剤の塗布用ブラシ付き注出容器では、ブラシ歯に形成される注出口が、全て同一方向に揃えられて形成されていたので、染髪剤をブラシ上に平均させて滞留させることができず、毛髪に均一に塗布するのが困難であるといった課題があった。

【0005】 本発明は上記課題に鑑みて創案されたものであり、その目的は、ブラシ体で毛髪に液剤（染髪剤、整髪料、育毛剤等）を塗布するにあたって、ブラシ上の全面に平均に液剤を導いて滞留させることができ、もって毛髪の広い範囲に亘ってむらなく塗布可能で、塗布作業が楽に行える塗布用ブラシ付き注出容器を提供することにある。

とにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 かかる目的を達成するために、本発明に係る液剤の塗布用ブラシ付き注出容器は、容器本体内に収容した液剤をブラシ歯表面に開口した注出口から注出するものにおいて、容器本体に取り付けられて液剤の案内通路を形成する柄部と、縦横に林立された多数のブラシ歯を有して該柄部に取り付けられるブラシ体とを備え、該ブラシ歯には該柄部の案内通路に連通して歯丈方向に延びる液剤の注出通路と、該注出通路の先端に連通してブラシ歯を径方向に貫通する注出口とが形成され、該注出口は隣接するブラシ歯同士間でその開口方向が異なっていることを特徴とする。

【0007】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の好ましい実施の形態につき、添付図面を参照して詳細に説明する。図1は本発明に係る塗布用ブラシ付き注出容器の一実施形態を示す全体斜視図であり、図2はブラシ歯部分を正面から見た図、図3は図2中のIII-III線矢視断面図、図4はブラシ体の要部を拡大して示す要部拡大斜視図、図5はブラシ体の隣接する2つのブラシ歯の関係を説明するもので、同図(a)は正面図、同図(b)は(a)中のb-b線矢視断面図、図6は図5(b)を斜視断面で示す図である。

【0008】 これらに図示するように、この実施形態の塗布用ブラシ付き注出容器2は、液剤として染髪剤が収容される容器本体4と、この容器本体4の口部42に着脱可能に螺合されて取り付けられるアダプター6と、このアダプター6に嵌合装着される柄部8と、この柄部8に取り付けられるブラシ体10とからなる。なお、液剤としては上記染髪剤に限らず整髪料や育毛剤等の毛髪に塗布するものが適用できる。

【0009】 容器本体4は、内容物の染髪剤を押し出すために軟質合成樹脂によって全体としては薄肉な瓶状に形成されているが、縮径された口部42は厚肉にされて剛性が高められているとともにその外周面には雄ねじ部44が形成されて上記アダプター6が螺合されるようになっている。

【0010】 アダプター6は大径部62と小径部64とからなる段部を有した筒体状をなし、大径部62の内側面に形成された雌ねじ部63が容器本体4の口部42の雄ねじ部44に螺合される。また、この大径部62の内側には容器本体4の口部42内周面に嵌合して密封性を確保するための筒体部65が小径部64側から突出形成されている。小径部64にはその内側に柄部8の筒状の基端部804が嵌合固定されるようになっており、小径部64の内周面に環状に形成されている係合溝66と柄部8の基端部804外周面に形成された環状突起803とが係合しあって、それらは密封性を保って強固に結合する。

【0011】上記基端部804に連なる柄本体部802は、先端部側が徐々に絞られた中空の管体状に形成されており、その内部空間が染髪剤の案内通路810となっている。また、柄本体部802と基端部804との境は段部に形成されており、この段部がアダプター8の小径部84の端面に当接する。ところで、柄本体部802の先端側は側方に所定の角度で曲げられ、かつその先端は矩形枠体状に大きく拡開形成されていて、当該拡開部分の矩形枠体状部分が後述するブラシ体10の取付ベース806になっており、この取付ベース806はその対角線が柄本体部802の長手方向に合わせられて斜めに配置されている。また、矩形枠体状の取付ベース806にはその端面の内周部に沿って環状に凹む段部808が形成されており、この段部808にブラシ体10が一体的に装着されるようになっている。

【0012】ブラシ体10は上記取付ベース806部の段部808に装着されて接着剤などで一体化されるブラシ歯連結板104と、このブラシ歯連結板104の表面から起立して一体的に突出形成された多数の丸軸状のブラシ歯102とからなる。ブラシ歯連結板104は上記取付ベース806の段部808の内寸に合わせられた矩形をなし、周縁部がその環状の段部808に嵌合当接されて一体的に取り付けられ、この周縁部を除く裏面は取付ベース806の内側に矩形に拡大形成されている案内通路810に臨んでいる。

【0013】上記ブラシ歯102はその歯元部の径が太く、先端側に向けて若干縮径していくテーパ状をなし、先端の歯先部は球形に形成されている。このブラシ歯102は矩形の連結板104の対角線方向に沿って多数縦横に整列状態で林立している。そして、これらブラシ歯列の最外側に位置する16本のブラシ歯102aを除く他の全てのブラシ歯102b、102cには、その軸心に染髪剤の注出通路114が歯丈方向に歯先近傍まで延出されて形成され、これら各注出通路114は柄本体部802の案内通路に連通する。

【0014】また、各ブラシ歯102b、102cには注出通路114の先端に連通する注出口116が径方向に貫通形成されており、この注出口116は隣接するブラシ歯102b、102c同士間でその開口方向が異なっている。即ち、注出口116が柄部8の長手方向を指向して開口されたブラシ歯102bと、柄部8の長手方向に直行する方向を指向して開口されたブラシ歯102cとがそれぞれ縦横に交互に並んでいる。ここで、注出通路114はその横断面が長方形をなし、注出口116の開口方向が長辺となっている。そして、この長辺の両端部側となる短辺部分にはブラシ歯102b、102bの肉厚を確保して注出通路114を円成するための膨出部112が一体的に設けられている。また、横断面長方形の注出通路114はその短辺側の長さは一定に形成される一方、長辺側の長さは歯先側に行くに従って徐々に短

く形成されていて、短辺側は傾斜面になっている。

【0015】上述の如く構成される本実施形態の染髪剤の塗布用ブラシ付き注出容器2では、容器本体部4の外周部を軽く押し込むと、内容物の染髪剤が柄部4の案内通路810に押し出されてここに充填し、更にブラシ体10の各ブラシ歯102b、102cの注出通路114内に流れ込んで、その各注出通路114の先端部に連通した注出口116を通じてブラシ歯102b、102c間に流出して滞留する。この時、隣接するブラシ歯102b、102cの注出口116、116は互いにその向きが90度異なっているから、染髪剤は各ブラシ歯102bと102cとの間の隙間に広く平均してムラなく拡散することになる。このため、ブラシ体10で毛髪を梳いて染髪剤を塗布するにあたって、毛髪の広い範囲に亘って一度にむらなく塗布することができるようになり、染髪剤の塗布作業が楽に行えるようになる。

【0016】図7、図8は注出口の変形例を隣接する2つのブラシ歯によって代表して示すものであり、図7は斜視図、図8(a)は平面図、同図(b)は(a)中のb-b線矢視断面図である。これらに図示するように、この変形例にあつては注出口116をブラシ歯連結板104の上面から注出通路114に沿ってそのほぼ全長に亘って形成しており、ブラシ歯102b、102cには注出通路114をブラシ歯間の空間と画成するための膨出部は設けられていない。このように、歯丈方向に長く形成すれば、ブラシ体10上に染髪剤を広く拡散させて平均して滞留させ得るばかりか、その滞留厚みも大きく確保することができ、もってより一層に染髪剤の塗布作業が楽に行えるようになる。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係る塗布用ブラシ付き注出容器によれば、ブラシ歯に形成した液剤の注出通路の先端に連通させて、当該ブラシ歯をその径方向に貫通して形成する注出口の開口方向を、隣接するブラシ歯同士間で異ならせているので、ブラシ体上に注出して滞留される液剤は各ブラシ歯間の隙間に平均して広く拡散することになり、もってブラシ体で毛髪に液剤を塗布するにあたって、一度に広い範囲に亘ってむらなく塗布することができ、液剤の塗布作業が楽に行えるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る塗布用ブラシ付き注出容器の一実施形態を示す全体斜視図である。

【図2】そのブラシ歯部分を正面から見た図である。

【図3】図2中のIII-III線矢視断面図である。

【図4】ブラシ体の要部を拡大して示す要部拡大斜視図である。

【図5】ブラシ体の隣接する2つのブラシ歯の関係を説明するもので、同図(a)は正面図、同図(b)は(a)中のb-b線矢視断面図である。

【図6】図5と同じくブラシ体の隣接する2つのブラシ歯の関係を説明する斜視断面図である。

【図7】注出口の変形例を隣接する2つのブラシ歯によって代表して示す斜視図である。

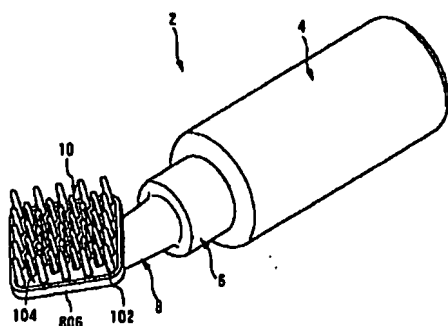
【図8】同図(a)は図7と同じく注出口の変形例を隣接する2つのブラシ歯によって代表して示す平面図、同図(b)は(a)中のb-b線矢視断面図である。

【符号の説明】

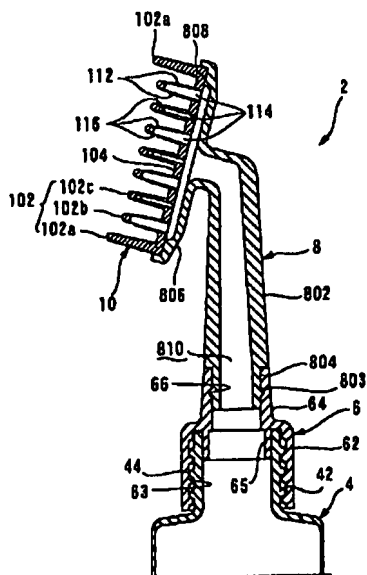
2 塗布用ブラシ付き注出容器
4 容器本体

6 アダプター
8 柄部
806 取付ベース
808 段部
810 案内通路
10 ブラシ体
102 ブラシ歯
104 ブラシ歯連結板
114 注出通路
116 注出口

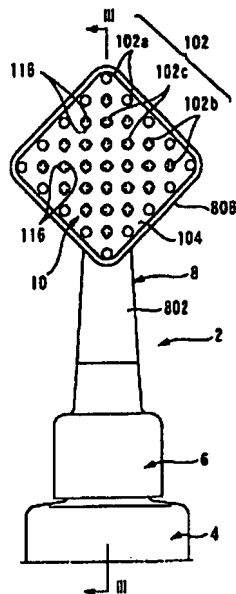
【図1】



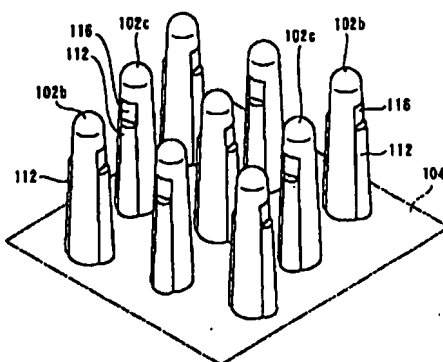
【図3】



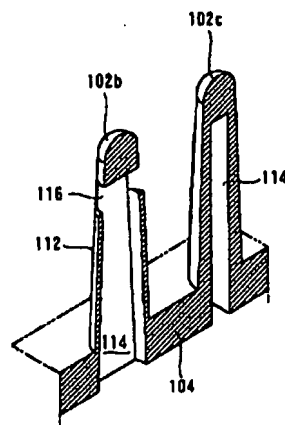
【図2】



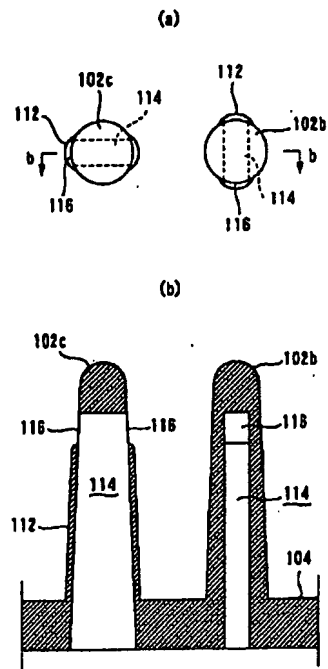
【図4】



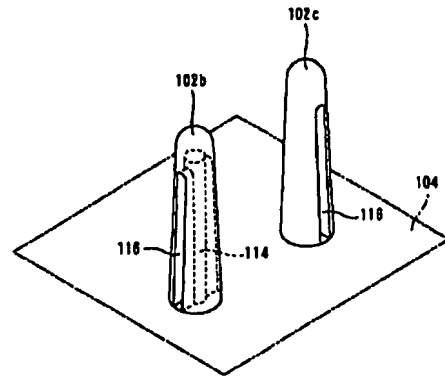
【図6】



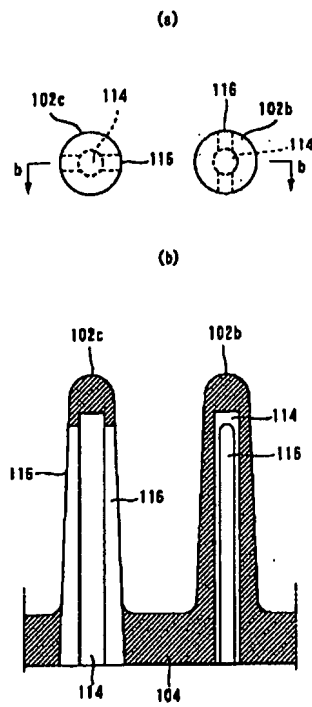
【図5】



【図7】



【図8】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3B202 AA17 BB08 CA07 DB09 EA01
EB17 EG01 FA04
3E084 AA04 AA12 AB01 AB09 BA02
CB02 CC03 DA01 DB12 DC03
EA04 EB02 FA09 FB01 GA01
GB01 JA01 KB01 LD01 LG01
LG06
4F042 AA01 FA22 FA24 FA30 FA35

E6

MicroPatent Report

Report Summary:

Name of Session/Report:

Report Created: 2007-07-09 - 06:22 GMT

Number of records selected: 1

Table of Contents

1. JP2002136332A A46B YOSHIDA INDUSTRY CO
POURING VESSEL WITH BRUSH FOR APPLICATION

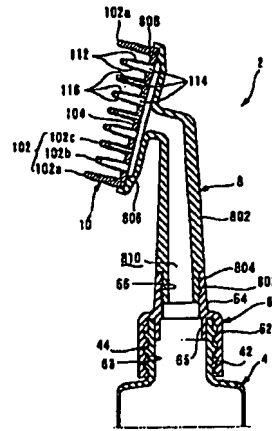


JP2002136332A

MicroPatent Report

POURING VESSEL WITH BRUSH FOR APPLICATION

[71] Applicant: YOSHIDA INDUSTRY CO
[72] Inventors: YUZUHARA YUKITOMO
[21] Application No.: JP2000332982A
[22] Filed: 20001031
[43] Published: 20020514
[30] Priority: JP JP2000332982A 20001031



[Go to Fulltext](#)

[Get PDF](#)

[57] Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a pouring vessel with a brush for application capable of keeping liquid formulation (hair dyeing agent, hairdressing agent, hair restoration agent, etc.), widely, evenly, and by balancing on a brush body to apply the liquid formulation evenly over a wide range of hair and facilitating the application work when the liquid formulation is applied to the hair by the brush body.

SOLUTION: This pouring vessel with the brush for application is provided with a handle part 8 attached to a vessel main body 4 to form a guide passage 810 for liquid formulation and the brush body 10 having many brush teeth 102 bristled lengthwise and crosswise and attached to the handle part 8. A pouring passage 114 for liquid formulation communicating with the guide passage 810 of the handle part 8 and extending in the direction of tooth height and a pouring port 116 communicating with a tip of the pouring passage 114 to pass through the brush teeth 102 in the radial direction are formed in the brush teeth 102, and the direction of opening of the pouring port 116 differs between adjacent brush teeth 102b and 102c.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO&Japio

[52] US Class:

[51] Int'l Class: A46B001102 B65D005132 A45D002422 B05C001700

[52] ECLA:

